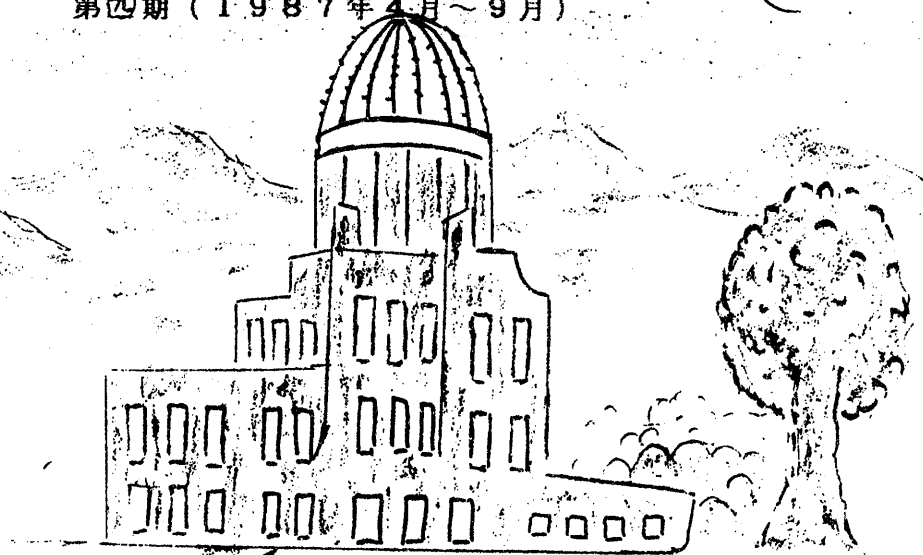
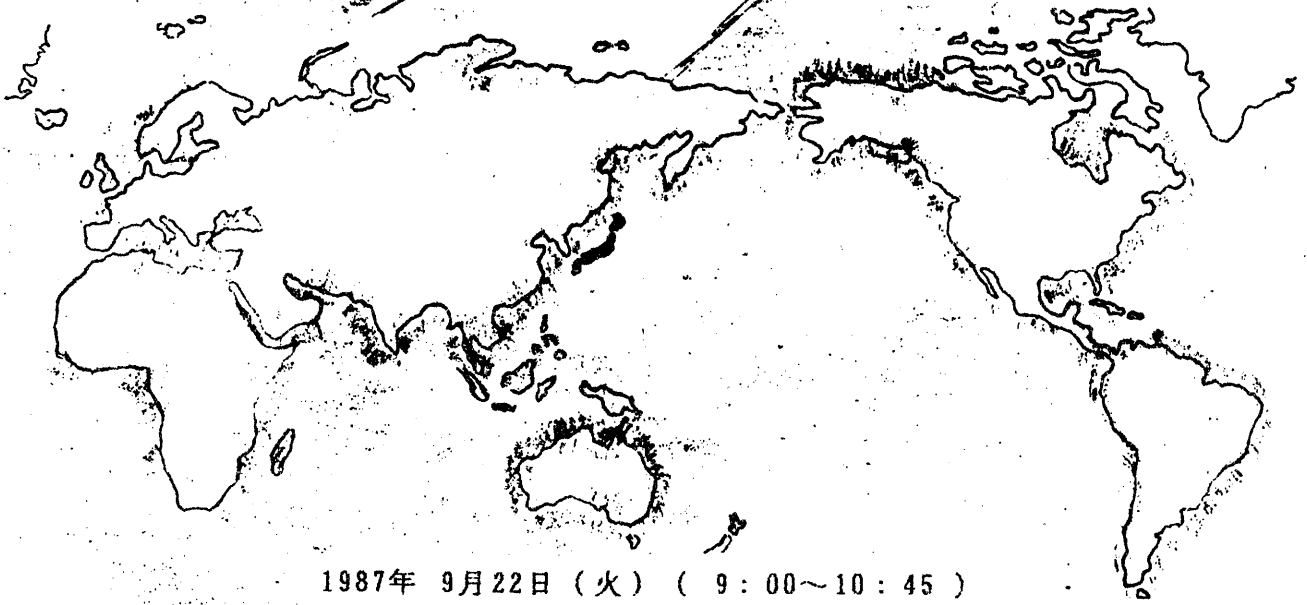


広島大学外国人留学生日本語研修コース
第四期（1987年4月～9月）



成果発表会



1987年 9月22日（火）（ 9：00～10：45 ）

プログラム

ページ

1、日本へ来ました	<u>アブール・ムキブ・カーン</u>	バングラデシュ… 1
2、日本でのけいけん	<u>シギット・ユウォノ・アルトウィボウォ</u>	インドネシア… 3
3、私がうけたかんげい	<u>ギデオン・ガメリ・アグベマビエッサ</u>	ガ ナ … 5
4、農産物と食物	<u>ファキフ・ウーディン</u>	インドネシア… 8
5、マレーシアと日本はどちらがいますか	<u>メアリー・ヨー</u>	マレーシア…11
6、日本での私の生活	<u>ホルヘ・アルマンド・コルテス</u>	メキシコ…14
7、インドネシアと日本	<u>イラワン・ユスフ</u>	インドネシア…17
8、日本へ来てから	<u>ロメイシ・ディ・アルウィス</u>	スリランカ…19
9、新しいけいけん	<u>アルフレド・マルティス・フエンテス</u>	パナマ…22
10、二回目の日本	<u>アブドゥール・ラーマン・マハムド</u>	マレーシア…25
11、ラデンビモセノ (ワヤンの話)	<u>レトノ・インドゥラティ</u>	インドネシア…28
12、日本での初めてのけいけん	<u>ソクラテス・フェデリコ・フラデハス</u>	フィリピン…31
13、日本語と愛	<u>アジザン・アズムニ</u>	マレーシア…33
14、日本語研修コースの六か月とわたし	<u>バンニー・スワントゥピンタン</u>	タイ…35
15、本当の人生はいつ始まるのか	<u>ホセ・ランドゥリト・エドゥキラネ</u>	フィリピン…37
16、日本でのたいけん	<u>カムスィア・カマルディン</u>	マレーシア…39
17、日本での昆虫生態学研究	<u>ウィディアルタ・イー・ニョマン</u>	インドネシア…42
18、「言葉」について	<u>モルテザ・アナレイ</u>	イラン…45
19、夢	<u>ネストール・アウグスト・ムニョス</u>	コロンビア…47
20、ウルグアイから日本まで	<u>エクトール・ホセ・ジョリ</u>	ウルグアイ…50
21、私の国	<u>ジャガル・ウィセソ・マルセノ</u>	インドネシア…53
22、夏休みの出来事	<u>リム・ロンユー</u>	マレーシア…56

原 稿 集

◆◎にほんじんの めから すれば、 おかしな ひょうげんや
かきかたなども なくは ないのですが、「ウエルダン」に
すると、「なまの あじ」が そこなわれて しまいますので、
「ミディアム」ぐらいに なって おります。

ごりかい いただければ さいわいに ぞんじます。

日本へ来ました

アブル・ムキブ・カーン

みな様、おはようございます。私はバン
グ
ラデッシュユから来たアブル・ムキブ・カーン
と申します。私はことしの四月に広島にま
り
りました。いちどげんしばくた人によつては
り
きよとなつた町がここまではつたつしたの
を
見て私はおどろかされました。

でも、バングラデッシュユと日本はたが
ち
がうところがあります。たとえば、サリシ
よ
に、言葉です。私の国ではバングラ語と英
語
を使います。発音も文法も字も全部ちが
り
ます。料理もバングラデッシュユと日本はち
が
ります。バングラデッシュユ人はたいていから
り
食べ物が大好きですが、日本の料理はま
り
からくありません。でも、私の国にはおさ
し
みやおすしやラーメンやそばや酒はま
り
ません。私は日本へ来てからはじめてはし
を
使
いました。が、とてもめんどうでした。家もバ
ン
グ
ラデッシュユと日本はちがります。ほとん

どこのバン格拉デッシュユの家は広いです。建物
はたいしていい人がヤリメントでたてます。そ
して、私たちはくつをはいたまま家の中に入
ります。日本では家の中でくつをはくのはだ
めですから、私はびっくりしました。きこう
もバン格拉デッシュと日本はちがります。私
の国はあまり寒くありませんがとても暑くて
よく雨がふります。

しかし、良い友達とやさしい先生がたの
おかげで、大きな問題はほとんどなくなりま
した。私はごしんせつな日本語の先生がたに
心からかんしゃしています。私たちのホリだ
のゆうじょうとありが、いつまでもつづきま
すように。そして、へいわとし広島が世界に
へいわをもたすことを私はねがっています。

日本でのけいけん

シギット・ユーウォノ

今日、日本語研修コースは、終わります。

この日本語研修コースは、四月十四日から今日まで、六か月ぐらいかかりました。この間に夏休みがありました。六週間ぐらいです。

夏休みに、いろいろなことをしました。たとえば、高知県へ旅行に行きました。マツダの工場を見学しました。毎週土曜日に広島大学工学部へ行きました。それで、たくさん会話の練習をしました。そして、日本人といろいろな話をしましたが、日本語はまだ正しく話せませんでした。

六か月ぐらい日本に住んで、たくさんのご

とをけいけんいたしました。たとえば、アパ

ートさがし、食べ物、新しい友だち、全部新

しいけいけんです。

私は、なぜ日本の大学を選んだか。げんざ

い、日本は世界のおもな工業国のひとつで、

すぐれた大学が、工業をささえています。広

島大学も全国の大学のうちで有名な大学のひとつです。

ところで、私は日本で勉強をするだけでなく、インドネシアと日本との友好を深めたいと思います。そうすれば、日本とインドネシアは、技術とけいざい協力だけでなく、文化協力もできると 생각합니다。

私たちは、日本語研修コースで、六か月いっしょに勉強をいたしました。あした、私たちはわかれこ、それぞれの指定大学へまいります。私も広島大学工学部へ行きます。友だちは広島を出発します。さようなら、また会いましょう。広島を忘れないで下さい。

先生がたには、いろいろ教えていただきほんとうにありがとうございました。

私は、先生がたとこの親しい友だちにしようらい、また会いたいと思います。

どうもありがとうございました。

私がうけたかんげい。

ギデオン アグベアビエセ

みなさん，今日は。こうしたせきでいるい
る話ができることは，わたしにとってたいへ
んいいけいけんになります。

広島に来てもう五か月にになりました。日本
に来る前に，日本はいだい祖国だし，日本人
はよくはたらくということだけを聞きました。
日本人はどのようかにげんがわかりませんで
した。私のいちばんの問題は，日本人がア
リカ人を見てどのようにはんのうするかとい
うことでした。ところが広島で最初が私
はびっくりしました。ほんとうに日本人の
かんげいにはかんとうしました。いつも道で日本
人と会った時は，日本人はうねいしをうにあ
いさつをします。今私は，たくさんの日本人
とたかよしになりました。ほかの国にいる間
はこんたけいけんはたかだったので，私は日本
に来てよかったです。次
次にいいおもいでは学長室訪問でした。私は

このようたかんげい会は、たんさんけいけん
がありますか、この時は最高でした。まず私
の前に私の国のはたが立ててありました。私
の国をそんけいしていただいてこころのそこ
から、かんどうしました。ここで学長におれ
いをいいたいと思います。沖原学長どうもあ
りがとうございました。

五か月前には、日本語は何にもしやべれま
せんでした。今は少しできます。先生がたに
日本語を教えていただきまして、うれしくて
たまりせん。先生と学生たちのかんけいは兄
弟のようたかんげいでした。一日じゅうどこ
でも何かふじゅうたことがあったら、先生は
よるこんでみんなをいろいろ助けてください
ました。しゅくだいはいつも山のようにある
ので、先生は「よくおぼえて、かんばって下
さい」と言っておられました。私はこの言葉をい
っもおもいだします。

私は高野町のホームステイプログラムにも行
きました。日本では、ほかの国とくにガーナ

とちがって、としいたかの生活にほとんど
さかぬいことにかんぞうしました。そして、
ここでもみんな親切でした。このように私は
何もしんぱいしないで楽しくすごせました。

私は来月から香川大学で国際金融を研究し
ます。

今まで、広島でたいへん親切にしていた
だきました。それはとてもいいおもいでにな
ると思います。どうもありがとうございました。

農産物と食物

(c) ファースト・フード

私たちは、食物を食べなければなりません。多くの食物は、農産物から作ります。だれも農産物が必要ではありませんか。私たちは、いろいろな農産物が必要です。たとえば米や製粉や穀物や卵や牛肉や牛乳や鶏肉や魚や野菜や果物などです。

私たちは、いつも農産物が必要です。しかし、私たちはいつも農産物を生産しているわけではありません。農産物は生鮮食料です。ここで問題があります。その問題は、どのように解決したらよいのでしょうか。

いろいろな農産物の被害の原因があります。この原因は、たとえば水害や病虫害や荷傷みなどがあります。それから、私たちは農産物を貯蔵予措しなければなりません。

私たちは、しばしば時には高い水分含量の

農産物を収穫します。そして、この農産物は
急いで乾かします。そすると、私たちは農業
資材倉庫に農産物を保存します。

いろいろな外の処理は、たとえば精白や風
選や混合や凍結や冷戻や蒸発や格付などがあ
ります。農産物は畑と水田から机の上にまで
このようにとても長いこう程の後、私たちは
いろいろな食物を食べられます。

みなさまはどうでしょうか。

食べるのが好きですか。

食物では、どんな食物が一番好きですか。

果物では、どんな果物が一番好きですか。

食事では、どんな食事が一番好きですか。

もし、みなさまは食べるのが好きでなけ
れば、たぶん病気でしょう。みなさまが元気
なら、食べるのが好きです。

食べる時に、食事が机の上に来るまでどの
ような過程があったか。考えたことがあります
せんか。

さいごに、みなさま、私たちは、いつも食

事を食べる前に、「いただきます。」と言います。食べ終わった時に、「ごちそうさま。」と感謝をこめて言います。

日本語研修コースもここぞ終わりました。どうもありがとうございます。

マレーシアと日本はどっちが暑いですか。

メアリー ヨー

おはようございます。

わたしはメアリーです。マレーシアから来ました。六か月前にわたしたちここにあつまりました。そのころからわたしは日本語の勉強がなしかたかなと漢字と文法を習いました。今日は修了式でわたしはとてもうれしいはずなのに、わたしの日本語はまだ下手です。

わたしのしじょうき、うかんの川辺先生をはじめ、いろいろな先生にたいへんお世話になりました。ありがとうございます。

わたしは六か月日本にすんでいます。いろいろなことを見たり聞いたりしました。しかし、わたしの国とぜんぜんちがいます。たとえば冬です。日本では春と夏と秋と冬があります。わたしの国は一年じゅう暑いです。だから、はじめて日本へ来た時は寒かったです。その時わたしは自分でいつも「どうして日本へ来たのかしら」と思っていました。そのこ

ろはたいへんでした。

外には、食べたり飲んだりする時のしゅうかんがちがいます。たとえば日本人は食べる時、音をたてます。わたしはとてもひっくりしました。わたしの国ではそんなことをしてはいけません。とくに女性はそりです。失礼なことだと思われる。しかし、今はわたしはわかっています。音をたてるのはおいしいからです。

もひとつ、わたしのかんさつでは日本人はビールがだい好きです。しかし、わたしの国ではビールはあまり飲みません。まつりや儀式の時はビールやいろいろなアルコール類を飲みます。たとえば結婚式や中国人の新年の祝いの時です。もし毎日飲んでいたらその人はいい人ではないと思われる。でも日本人は飲みながら上司と部下の間でもふつう職場でできない話をするのだということを知っています。

ざいごにもういちどたいへんおせわになっ

た先生がたに、お礼を言いたいです。

どうもありがとうございました。

日本での私の生活

ホルヘ・コルテス

みな様、おはようございます。私の名前はホルヘ・コルテスです。はくしかていでごうぎょうの勉強をするためにメキシコからきました。でもはじめは日本語を習わなければならぬので、はじめました。四月十五日から毎日九時半から五時まで勉強をしました、文法や会話や漢字などです。漢字では、全部の漢字を習うためにはもっとたくさんの時間が必要だろうと思います。

私の国は北アメリカにあり、北にはアメリカが、しゅうごくがあります。そして、みなみにはグアテマラ、東にはたいせいよう、西はたいへいようがあります。

メキシコはてんねんしげんにとんだ国です。たとえば、せきややさんやさんなどです。

メキシコには七千人のメキシコ人がいます。

メキシコはろっひやく年いじょうまえにた
てられたふるいけんちくぶつやかいかんやた
べものやひとびとのしんせつさでゆうめいで
す。

私の国の山でいちばん高いのはPICO DE
ORIZABAです。この山は五千七百四十七メー
トルあります。

ラテン・アメリカでいちばん古い大学はメ
キシコにあります。そして、めいせいを持っ
ています。けれども、日本でもこうぎょうの
勉強をするとほかの文化を知り、べつのかん
がえかたがでるので日本へ来ることにしま
した。

この六っか月に習ったいちばんたいせつな
ものが友だちのじみと、そして、もちろん日
本語です。私はいろいろな国の学生といっしょ
に勉強するのがおもしろかったです。だから、
いろいろなところのふうしゅうとでんせつを
習いました。しかし、もっと日本語を習いた
いと思います。

本島大学と日本語の先生がたとホストファミリーと友達におれいを言いたいと思います。どうもありがとうございました。

インドネシアと日本

イラワン、ユスフ

今、日本が国際的なやくわりを果すことが
国の内と外から来たいされています。国際化
と言うことです。

国際化するのはやさしくないです。国際化は
日本政府と日本人によってささえられなけれ
ばなりません。日本の経済力はどんどん大き
くなりますから、国際的責任も大きくなって
います。欧米だけでなく、日本は発展途上国
に責任があります。世界は欧米と日本だけのも
のではありません。

外国にお金を上げることと外国せいひんを
買うことだけが、国際化ではありません。

人間の気持の国際化はもっと大切です。この
問題はむずかしいと思います。

今では、たくさんの日本人が外国へ旅行し
たり、外国で仕事をしています。

この日本人が外国をもっとよく理解することをきぼうします。

インドネシアと日本との関係は、長いれきしがあります。昔からインドネシア人は日本人に知られています。今、インドネシアでは日本の資本とうしがいちばん大きいです。しかし、インドネシアと日本は、経済だけではなく、文化、教育、その他いろいろな面で関係を改善しなければなりません。

日本へ来てから

ロンドン デイ アリス

私はスリランカ人です。スリランカでは、私はけいざいにかんする役人として、政務につとめをしています。日本へ来る前に、私は三つの国から、どの国へ行きたいか、せいふにたずねられました。その三つの国は、アメリカとドイツと日本です。私は日本をえらびました。その理由は、まず、アジアの国であることと、島であることです。次に、文化できにも少し同じだからです。例えば、ふつきょうとほしめつきなはいけいがあることです。米も主食であります。もうとじゅうようなことは、世界大せんとうから、日本はけいざいの大國になつたことです。開発けいざいを勉強するつもりで、私は四月三日に日本へ来ました。

だけれども、日本へ来てからせいがつはたいへんむずかしくなりました。さむいから、

ふるえてしまいました。スリランカでも人だ
いがある時は、家族のことをしんぱいしてい
ました。しかし、広島はきれいな所ですし、
今は友たちがたくさんいますし、私はたのし
く勉強しています。

日本へ来てから、私はいろいろなことをは
じめてしました。はしたはじめて使^つたり、
ピマガーデソにもはじめに行^つたり、野球のし
あいも行^つて見^つたりしました。スリランカで
は、私のスポーツはぼうたかどびでした。広島
で私は、はじめにテニスとホリグをしました。
新幹線と地下鉄にもはじめに乗りました。多
くのことがはじめにですから、むずかしくて
いきないのです。でも、むずかしいのに、ゆう
いぎでおもしろいです。

日本語もむずかしいです。日本へ来た時は、
私は日本語がぜんぜんわかりませんでした。
しかし、私の日本語の先生はがまんよく教
えてくださいました。私はほ人とうにかんし
めをしていきます。

今月、私は山口へ行きます。山口では、日本語コースがないから、たぶんせんも人の勉強だけします。広島と広島にいる先生と友達には私の心の中にいつもいると思います。ではみなさん、どうもありがとうございました。

新しいけいけん

アルフレド・マルティネス

広島大学の先生方、りゅう学生のみなさん
おはようございます。私はパナマのアルフレ
ド・マルティネスです。医者をしていません。私
の国は中米にあります。パナマより日本の方
が大きい国です。パナマの人口は二百万人た
けです。パナマで一番ゆいめいなことはパナ
マうんがです。うんがは千九百十四年に建て
られました。太平洋と大西洋をつないでいま
す。今年パナマと日本とウララは新しくて大
きいうんがを建てることにどういしました。

四月に日本へ来て九月まで日本語の勉強を
しています。四月から今までのけいけんは、
ほんとうにおもちろかったです。よい方にお
おせい会いました。日本のふうしゅうもわか
りました。だから、このけいけんはたいせつ
なのです。広島大学の先生方と日本語コース

のりゅう学生は、ほんとうに良い方ばかりです。もちろん、外国人にとって、日本におむことはむずかしいと思います。でも、今は私は日本語がわかりますから、それはむずかしくなくなりました。

ほんとうに広島を出て行きたくないです。ここには良い友だちがたくさんいます。けっしておそれられません、高知へ行かなければなりません。だから広島を出る時には泣くかもしれません。私はここに帰って来たいと思います。みなさん、ときどき私たちはしよげたり、元気がなかり、りゅうつになたりします。いつでも元気な人はいないと思います。でもこのけいけんでみんなおたがいをひつようとしていることを私たちはまなびました。どこから来たかにはかんけいなく、私たちはりがいしあい、たすけあい、あいしあいはいわにくらすことができません。そのようにして私たちおれものは、じぶんたちの子供たちがへいわにきょうそんできるしょうう

いのしやかいをきす"く"ことが"できる"のです。
だから、分せ"のようにじゅうにま之にむがっ
てすすみましよう。うんぬいにまけてはいけ
ません。あらしにくるしんだ"ことのない人"に
はみなとのしずけさはわからないので"す。み
らいは私たちのもの"です。

広島市と広島大学の先生方、みなさん、ど
うもありがとう"ございました。また会いまし
ょう。

二回目の日本

ラーマン マハムド

今日はみなさま。私の名前はラーマンです。マレーシアからまいりました。もんぶしょうの研究生として、今年の四月日本に本てから六か月たちました。今日こちらにいらして、いるみなさまは私のことをごぞんじないでしよから、じこしょうかいをしました。もし私のことを知っている人が何回も聞かれたのなら、すみません。

私は今年はじめて日本に来るのではなく、今回は二回目です。一回目は1983年で、その時東芝でせいみつ部品せいさくのじっしゅうをしました。それでいっぱんに日本で生活することはあまりむずかしくないです。しかし、食事に関しては1983年にくらべて少しちがいます。その時はずっとホテルにすんだので毎日そとで食べたりに飲んだりしました。でも今はちょうしがちがいますね。毎日自分で朝食や夕食を作ったり、お茶やコー

ヒーを入れたりします。そのためになげやゆわがしや皿やれいぞこやテーブルなどを買わなければなりませんね。日本人の友だちに関しては1983年には友だちがたくさんいました。その時東芝でじっしゅうをする外国人は私しかいませんでした。ですから日本人はみんな私のそんざいをよくしていました。私と会った時みんな私にいろいろなことをききました。生活の問題とか、じっしゅうする問題とか、きょうみのこととかみんなはなんでも私にききました。そうい関係があるからみんな少しずつ私の友だちになりました。でも、今回は広島大学にたくさん留学生がいますからみんなは生活に関して少しずつわかち合わかければならないと思います。ですから私は日本人の友だちになるために自分でじりょくしななければなりません。みなさま、なぜ日本人の友だちになることが必要といわれたのでしょうか。日本語がよくしゃべるようにするためには毎日日本語を話さな

ければならないと思います。例えば一日中同じ国の友達と話したら、もちろんその国の諺を使ってしまいます。ですから必要な日本語のれんしゅはできないでしょう。

みなさま、まわりのかんきょうが人の生活のスタイルをかえます。じぶんの信念をかえないで、日本でしあわせになるように、がんばって下さい。こんどまたちがう社会にいて、ちがう場所に住んでかんきょうもかわるかもしれませんが、それで楽しく生活をするために生活のスタイルがかわることもあるでしょう。

先生がたには、長い間お世話になってほんとにありがとうございました。これからも先生にいろいろなことを教えていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

ラテンビモセノ(ワヤンの話)

レトノ

インドネシアにはふよう芸術があります。いろいろあります。各島にはそれぞれのがあります。中部ジャワにクラシックの踊りがあります。例をあげれば、ボンダン踊りやアルンシイ踊りやメラック踊りなどです。外にはワヤンがあります。

ワヤンはラマヤナとマハバラタの物語りを描いてあります。いろいろなワヤンがあります。ワヤンオランやワヤンゴレックやワヤンクリットなどがあります。ワヤンオランでは人が踊ります。オランはインドネシア語で「人」という意味です。ワヤンゴレックでは人形が踊ります。ワヤンクリットでは牛の皮から作られた物が踊ります。こちらと同じです。

ワヤンには話がたくさんあるのでワヤンの役者を使います。ワヤンの使い手を「ダラン」と言います。これから転じて、秘かにある運動を指導する人も「ダラン」と言います。

こちらは「ラデンビモセノ」と言います。
 このかたはパントウ王の子です。ラデンビモ
 セノは勇者です。このかたの靈は「ベラウマ
 ナ」の靈に似ています。最も単純なことと正
 直なことがベラウマナの一つの特性です。そ
 して、ラデンビモは完全な物心のシンボルで
 す。ラデンビモセノは弱い者をまもります。

このかたには武器があります。武器の名前
 はパンチャナカ爪とルジャークパラつちです。

髪にまげを結います。このまげは「ミナン
 カラ」と言います。着けた環は「チャンデラ
 キラナ」と言い、首飾りは「ナガサセラヤネ
 ガバンダ」と言い、耳飾りは「ジャロツテン
 アセム」と言います。

ラデンビモセノには兄弟があります。この
 かたを入れて五人です。みんな男のかたで、
 パンダワと言います。ラデンビモセノは二番
 目です。

いまもワヤンは人々に好かれていて、時々
 テレビの番組でします。

これで私の話は終わります。ありがとうございました。

日本での初めてのけりけん

ソクラテス・ペテリコ

四月四日、わたしは大阪こくさいくこうに
着きました。フィリピンのとへ出るのは
はじめてです。その日は、くこうのホテル
に友だちといっしょにとまりましたが、夜、
くこうの近くを見物しました。日本のく=
はうつくしく、人々はかんようた"と思いま
した。

わたしたちにはカルサヤ・シヨフがあり
ます。まず、言葉のもんだい", りたしは日本
語がぜんぜんわかりませんでした。つぎの
朝早く、朝ごはんを食べました。日本のりよ
うりはせ=ブルが"あつて、おもしろいです。
如前が"りからなかったの", せ=ブルをゆひ
さして、ちゆうもんしました。味はほんとに
まずかった", す。でも、おなかか"とでもすい
りた"の", ぜんぶ食べました。友だちは、
プラス4ツも食べようと思いました。

大阪から広島までのりようはおもしろか

ったです。四時半ごろ広島に 도착くしまし
 た。その夜は学生会館で寝ました。とても
 さびくて、さびしかったです。そとへ出たか
 ったですが、道がわかりません。だから、か
 りりに、テレビを見ました。日本語がわから
 なかったのが、サヤ=ネルをいろいろかえま
 した。すると「11 p.m. リョーヨ」が出てきて、
 びっくりしました。日本語がわからなくても、
 きょうみがありました。

つぎの朝、方たちに電話をかけました。
 「もしもし、もしもし」という声か聞きました。
 た。わたしは「誰し中」と思って電話をきりま
 した。また電話をかけましたが、同じです。
 会館の方たちは「もしもし、のりみをきいて、
 やつと、それか「Hello, Hello」のりみか」と
 わかりました。

これか、わたしのりみならぬ日本での
 さりしよの片り片人です。

日本語と愛

アズザン。アスムニ

国に残してきた妻を心のそこから愛しています。以前その愛が自分の物になるまでよくがんばりました。

日本に来てから六か月になり、日本語をだんだん少しずつ愛すようになりました。日本語も愛みたいに、いっしょうけんめい勉強しなければなる、自分の物にならないでしょう。漢字や文法を習う時には、がんばらないとやくにたちません。日本語が気がつかないうちにわたしの心の中に残っています。

また、先生がたは、色々なことを親切に教えて下さって。たいへんありがたいとおもっています。やっぱりびじんの女の先生がいらっしゃるおかげで、勉強がすごくできました。その三人の女の先生には、何でも自分のきぼうどりにじつげんするようにおりのりしています。

夏休みには、わたしの日本語についての愛は少しへると思います。なぜかという夏休みには、色々な行事、たとえばはなびまつりやおぼんまつりやホムステアなどにさんかしました。でも、いくらそがしくても、日本語についての愛はたいへんふかいから、ぜんぜんわすれなくなりました。

みなさん、今日はわかれの日。今までみなさんにいろいろお世話になりまして、本当にどうもありがとうございました。もし、その間になにかつまらないことまたはしつれいことがありましたら、たいへんもしわけありませんでした。心からおわびをもうしあげます。これからも、みなさん、自分の国のやくにたつため一緒にがんばりましょう。そして自分の国へ帰ても、今日のご事はわすれなりで下さい。みなさんと一緒にいる間に、本当に楽しかったです。いつまでも心の中に残っています。またいつかどこかで会いましょう。ごせちやう、どうもありがとうございます。

日本語研修コースの六か月とわたし

パンニー・スワントゥピントン

きょうでこの日本語コースも終わります。これからわたしのけいけんを話します。

日本にくるまでわたしは日本語をぜんぜんしりませんでした。だから、基礎から勉強しなくてはなりませんでした。日本語はむずかしいですが、おもしろいです。これまでのところ日本語はだんだんむずかしくなってきました。とくに漢字です。漢字をおぼえるのはむずかしいです。今おぼえてもすぐわすれます。だから、わたしは漢字がにがてです。しかし、先生はわたしがにがてなのは漢字も文法も作文も会話もそうだと思っていらっしやるでしょう。でも最後までがんばり通しました。

わたしは先生がたに感謝しなればかりません。わたしは有益な知識を教えていただきました。今まで先生がたはとても親切でりかいがありました。だから、この日本語研修コ

ースはこづかをあげています。その上にわたしはたくさん友だちができました。わたしたちはいろいろなもんだいについてぎろんしました。たとえば、せいじと経済と文化についてです。今、わたしの世界はだんだんひろくなっています。

この六か月、日本語研修コースはとても楽しかったです。わたしは少し日本語や日本の文化がわかり、たくさんの友だちもできました。

わたしは後期も日本語の勉強をつづけるつもりです。なぜならば、わたしはあと一年半ぐらい広島にいるからです。だから、いくらむずかしくてもがんばります。

わたしはいんしょうにのこったことがいろいろあります。みなさんどうもありがとうございました。わたしはこのいんしょうを忘れません。それではまたあいましょう。

本当の人生はいつ始まるのか

ホセ・ランドリト

フィリピンには日本のもんどし、この研究生として、日本に留学したたくさんの友だちがおりました。私はかれりから日本でのすばらし、みのりのあるせいかつのことを聞いていました。くるしいことにあつたようなはなしは聞いておりませんでした。かれりがいつでもおたがい日本語で話をしていることをうらやましく思いました。これらのが私が日本政府の研究生に応募するうえで私を勇気づけてくれました。

私の乗った飛行機は午後七時ごろ大阪空港につきました。それは四月二日本曜日のことでした。その夜は妻と息子のことが心にうかび十分に眠ることができませんでした。これが海をへだてておたがい現実にわかれわかれになったはじめてのことでした。

それからしばらくのひびはとてもこうふんした毎日でした。たくさんの新しいものを見

たり、いろいろな所へ行ったりしました。しかし、気候、食べ物の味、ぶんかてきなはいけい、そしてとりわけ言葉は私の国とはとてもちがっていました。まるで、しんせかいにいるようなきもちでした。

その後日本語クラスのこうぎがはじまりました。このコースで私はとてもいそがしくなりました。やらなくてはならないたくさんのおしゅくだいがありました。このことが私のさびしさをまぎらわしてくれました。ほとんど自分の家族のことを考える時間もありませんでした。

ところで、一つききたいことがあります。本当の人生というものはいつはじまるのでしょうか。ある人は四十さいからだと言います。しかし、私にかんしていえば日本に私のりょうそつがついた時に私の本当の人生ははじまったのです。

日本でのたいけん

カムンテア カマルテン

私はカムンテア カマルテンです。マ
レーシアから来ました。アメリカでは、W.V.
U.のどぼくこう学部を1985年12月に卒業しま
した。10月から鳥取大学で、木山ひでお先生
の下でどぼくこう学研究生として勉強します。
日本にいる間に、日本の新しい科学技術を詳
しく調べて見たいと思っています。

広島にいる間、私は先生と大学のしょく員
と右もだちに助けをもらって「本とうにありが
とうございます」と今、ここを言いたいです。

私が4月にはじめて日本に来た時のじょう
たいは、アメリカに行った時とはちがいまし
た。というのは、日本語がぜんぜんわかりま
せんでした。また何人でもみんな新しく見え
ました。

私はいっしょうけんめい日本語の練習をし
て、すうが月あとにはすこし使えるようにな

りました。日本人をりかいるのはむずかしいですが、私はかいわのときもいっしょうけんめいどりょくをしております。今は心からたちをおりたいと思っています。ゆうきがでてきてじりつとししんをこにいれました。

夏休みは、ホームステイプログラムにさんかしました。それから、私じしんは、日本のじっさいのいきたしゃかいにせっきょくをきさんにさんかしたいと思います。私は旅行へ行きました。でも日本語がうじない時もあります。そんな時には、みぶり手ぶりでゆっくりと、できるだけやさしいたん語をみっけで話しています。

私じしん、日本語がやさしいわけではありませぬので、母国語以外の言葉を使う時に、話したいことがうまく口から出てこなくて、もとかしくかんじるきもちがよくわかります。

私はたくさんのかんことをけいけんして、日本語も話すことができるようになりました。それで、鳥取では日本語をつぎけてじっこうし、

話せると思います。もう一どさいごに、大いにかんしゃして、「ありがとうございます」と言っています。

日本での昆虫生態学研究

ウイディアアルタ イニョーマン

私は、インドネシアの農業試験場で五年は
たらいっております。ここで、昆虫生態学の勉
強をするために日本へ来ることができてとて
もうれしいです。私は前から日本にきょうみ
がありました。日本の昆虫生態学のレベルが
高いので、日本の大学で勉強をしようと思っ
ていました。

インドネシアの人々のせいがつは、むかし
から農業だと言われております。いままでは、
七十パーセントの人々が農業をやっています。
インドネシアの食事は、ほとんどご飯で、毎
日三かい食べるし、人口も多いしもちろんお
米はたいせつなものです。

インドネシアは、ねったいの国だから、一
年中いねのいしよくがでぎます。一年中害虫
の食物もあるので、問題になることがあります。

害虫の中でトビロウソカの問題がいちばん大きいです。ほかにはサンカメチユウやシロメチユウやイネシトメタマバいなどです。

インドネシアと日本は、トビロウソカについての問題はちがいます。日本のトビロウソカは中国からくるそうです。日本では、いねのいしよくは、一年で一、がいしかできません。秋のおわりごろしゅかくがおわります。冬になると全部トビロウソカがしにます。インドネシアでは、一年でかんきもうきもしゅかくができます。しゅかくからつぎのいしよくまでの期間はみしかいので、トビロウソカのことえぐんはほとんど一年しゅういます。ときどき大きい問題になることがあります。

害虫はうじよは、てこうせいひんしゅと農やぐでやります。しゅうらいはいろいろな問題があると思っているので考なければなりません。日本にいるあいたせんもんの勉強をいっしゅうけんぬいするつもりです。

今日は、日本語研修コースがおわりの日です。

す。先生がたにいろいろなことをおしえてい
ただいて、どうもありがとうございました。

「言葉」について

モルテザ・アナリイ

言葉は花のようにきれいです。その花はいろいろなり、うどで生まれてそだてています。形と色とにおりがちがります。しかしみんなきれいです。

イランの言葉はペルシャ語です。インドでソビエトでパキスタンでアフガニスタンでペルシャ語が話されています。

ペルシャ語はインドヨーロッパ語グループの中の一つです。字は三十三あります。その字の中で八字はアラブ語から借りられました。ペルシャ語では文のはじめにしゅごがあります。それからもくてきごがあります。文はどうしでおわります。それで日本語の文とおなじです。

ペルシャ語はみぎがわから書かれます。本やざんしもみぎがわからはじめます。

ほかの言葉の発音はペルシャ語を話す人にはむずかしくなれると思います。ペルシャ語の

発音は日本人にはむずかしいようです。

イラン人は詩が大好きです。学校の本にはいろいろな新しき詩や古き詩がたくさんあります。

こたいのなだかり詩人はフェルドーシーでさいきんのなだかりのはニマです。またフェルドーシーの詩はひとひとがあつま。た時やき。さてんで読まれます。それでときどき読むことができなりのにじょうずにさくしするひとがあります。

こくれのせいもんの上にペルシャの詩があります。その詩のしみはつぎのようなりみです。せかりのくにはみんなの。しよのかごくです。そのせかりのかごくのメンバーとしてみんなおなじです。もしひとりのメンバーがくるしんだらのこりのメンバーはしんぱりになります。

ペルシャ語でそのしはつぎのようによまれて
 ています。 که در آفرینش ز یک کوهرند بنی آدم اعضای یک پیکند
 در عضوها را مانند قرار چو عضوی بجز او در روزگار

夢

ネストーん・ムニース

みな様、おはようございます。ずつと前から本当に日本へ来たいと思つていました。私は日本の文化に磁石のように引き寄せられました。三年前に日本語の勉強をはじめました。先生が日本について、いろいろ教之下せていたので、楽しく勉強していました。

今年、もんぶしゅうのしゅう学金をいただきました。初からやさしくなくて、きつとむずかしいちゅうせんたろうと思っていました。

医者になつたら、日本へ行つて、日本についていろいろな事だけではなく、医学のいろいろなちいきもえに行きたいと思つていました。そのために国をやつていた医者といういい仕事もやめたい、患者に「別の医者に見てもらいに行つて下さい。」と言わなければならぬ、美しい恋人ともゆかれなければならぬ。

りませんでした。

日本に着いた時に「やっ、日本に来た」と自分に言いました。そこから、日本この生活を生きはじめました。日本の文化も日本の生活も日本語もちょうと知らないと思いました。とにかく、私にとっ、て日本にいられるのは夢を見ているような物でした。いい事もありました。おもいがけない良い事もあり、いやな事もありました。国でも「どびい」とは私の親しい友だちでした。その友だちをコロンビアにのこして来たつもりでしたがその友だちが日本までついて来ていたのでした。こまつた時、一人ぞどびしく過ごしてなければなりません。しかし、日本こそ素晴らしい所も見たい、ところも親切な方々とも会うことができました。

毎日、おもしろいけいけんもしています。

国をもつと愛することも習っています。

ホストファミリーやクラスメートや友だちには楽しく過ごさせてくれ、また、つらい

時には助け^{ます}てくれ、どうもありがとうございました。お礼を言いたいです。先生方にはおいそがしい中、私たちのために、日本語^{だけ}ではなくその外いろいろな事を教^{えて}下さり、まことにありがとうございました。

今、日本に住んでいる夢を見ているところですよ。いろいろな事^{がある}かわかりませんが、ぜひ何が^{おこ}っても長い夢をみたいと思います。ですから、いろいろな事を^ぎせいにしてもや^{って}みたいですよ。

コロンビアへ帰^{って}て、夢からやめて、ベトナムに横^{にな}りながら、日本で歩いた生活の道のことを、そして、うんめいにもら^{った}たけいけんを思い出^{そう}と思います。後^でまた夢を見る^てしよう。ありがとうございました。

ウルグアイから日本まで。

エクトール・ホセ・フリ

広島大学の先生がた、みねさん、こんにちは。私の名前はエクトール・ホセ・フリです。私はウルグアイ人です。わたしは医者です。

多分みねさんはウルグアイのことをあまりわからぬでしょうから、まず私はウルグアイについて話します。わたしの国は南アメリカにあります。土地はせまく、人口はすくぬいぬいです。人口は三百万人だけです。人口は、すくぬいぬいですが、人の気もちは大きいと思ひます。

ウルグアイは南半球にありますから、今春です。ウルグアイの気候は日本の気候とちがひます。冬も、雪はふりません。雨はふりますが、雨きはありません。四季の中でいちばんきれいなのは夏です。ウルグアイ人は夏には海岸へよく行きます。私も海岸へ行くのが大好きです。

今年の四月九日、ウルグアイから日本へ来

ました。四月から、私は広島大学で日本語の勉強をしています。みんな、多分わたしの日本語は、あまり良くないです。ちょっとした言葉を時々わすれてしまいます。でも少しずつ私は日本語がわかるようになって、こまかと思えます。

日本がわたしは色々なものをはじめてけんしました。たとえば、日本の言葉や宗教や歴史や文化、ぜんぶ、おもしろかったです。おおぜいのかたに会いました。広島大学の先生と留学生は、これからしぬまわたしの友だちです。

広島大学で私はたくさんのおこを習いました。一番大切なおこは、いろいろな生き方を勉強したことです。わたしは外国語の勉強のしかたも、習いました。

広島市は、文化がきれいな町です。本当に二二で私の文化はゆたかになるだろうと思えます。さいごに、先生がた、留学生、日本人のみんな、どうもありがとうございました。私は

広島市をけっしてゆすねたりごしょう。

どうも、ありがとう。

私の国

ジャガルフイセン

私はジャガルフイセンと申します。インドネシアのジョグジャカルタからまいりました。ことしの四月に日本へきて、九月まで広島大学で日本語の勉強を教えただきました。そしてことしの十月から広島大学の生物生産学部で勉強をするつもりです。

インドネシアは島国です。おもな島はジャワとスマタラとカリマンタンとスラウェシとイリアンです。そのほか小さい島がたくさんあります。全部で一万三千ぐらいです。

大きさはだいたい日本の五倍ぐらいです。長さは地球の長さの八分の一ぐらいです。人口は多いです。だいたい一億七千万人ぐらいいます。

全体にインドネシアには山が多くて火山と平野と長い川がたくさんあります。インドネシアはトロピカルの国です。季節は一年に二

つあります。雨季と乾季です。雨季は十月から四月までで、乾季は五月から九月までで、雨季の間は涼しくて、乾季の間は暑くてときどき暖かいです。

インドネシアには宗教はたくさんあってイスラム教やキリスト教やヒンズー教や仏教などがあります。九十パーセントぐらいがイスラム教です。地球で一番大きいぶつだんはインドネシアにあります。ポローブジュルは八世紀ごろたてられて、全部石で作られました。ポローブジュルの中に石仏がたくさんあってとてもきれいです。

いろいろほかにもいい所があります。たとえば、バリ島です。バリ島の中には、たくさんおもしろいことがあります。きれいなおどりやおもしろいぎしぎのかんしょうができます。うつくしいけしぎの海もあります。バリ島は、きれいな島だから、外国人が大ぜいいらっしゃいます。

みなさんも、どうぞインドネシアへいら

っ しゃ 乙 くだ さい。 どう も あ り が と う ご ざ い
ま した。

夏休みの出来事

リム ロン ユー

夏休み、九州へ旅行に行きました。別府で地獄ツアーをしたり、阿蘇山に登ったり、熊本城で絵を書いたり、天草海岸で大きいすいかを食べたりしました。

長崎へも行きましたが、長崎はおもしろい町で、歴史的に有名な所がたくさんありました。朝早くユース・ホステルを出て、一日中電車で見物をしました。皿うどんを食べて、五時になると、電車で帰りました。電車はこんでいました。となりになりの子とお母さんが立っていました。暑かったので、あせがタラタラ出ました。女の子は、左手でお母さんの手を握って、右手を私に指さして、「ママーくさい、くさい」と言いました。私はびっくりしました。心の中で、「はい、おかりましたよ、静かにして下さい。」とつぶやいて、窓の方に顔を向けました。マレーシアでも同じような事はあるかも知りません。

中止になるでしょうから。」とつぶやきました。
た。

みこしをかつぐ時、本当に雨がすごく降り
出しました。私はうれしくなりました。ハッ
ハッハ。踊りは中止になるでしょうから。しか
し、雨はやみました。踊りをやりました。だ
んだん踊り方を思い出しました。私もとても
楽しくなりました。祭が終わったあとも、もっ
と踊りたかったです。

佐賀県のホーム・ステイは本当に楽しかっ
たから、帰る時ちょっと寂しかったです。



広島大学

日本語

研修コース

昭和62年

第4期
1987

四月 - 九月

